

NO20 勘合貿易・東アジアとの交易

満点のコツ→室町の外交は頻度が高く難問が多い 先ずは解いて実感しよう！コツはそれから伝授しよう！

NO161 室町時代の対外関係 2017 本

室町時代の対外関係について述べた文として正しいものを1つ選べ。

- ① 朝鮮は日本に対し、倭寇の取締りを求めた。○
- ② 足利義持は、朝貢形式をきらって朝鮮との関係を絶った。✖朝鮮でなく明である。
- ③ 日本は書籍や刀剣をおもに輸出し、中国から刀剣や屏風をおもに輸入した。✖
- ④ 水墨画が中国から伝えられ、如拙や藤原隆信らが活躍した。✖藤原隆信＝似絵は鎌倉時代だ！

正解→①。問題文をよく読むこと。②朝鮮にはひっかかるね。

輸出→ 銅・硫黄・刀剣・金

輸入→ 明銭 (永楽通宝)、生糸

NO161 室町の外寇 平 17-本 年代順配列

次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

- Ⅰ 九州にいた懐良親王は、明の皇帝と外交関係を持った。
- Ⅱ 大内氏の滅亡により、勘合貿易が断絶した。
- Ⅲ 尚巴志が琉球王国を建国し、室町幕府と通交関係を結んだ。

- ① Ⅰ-Ⅱ-Ⅲ
- ② Ⅰ-Ⅲ-Ⅱ
- ③ Ⅲ-Ⅰ-Ⅱ
- ④ Ⅲ-Ⅱ-Ⅰ

正解→懐良は南北朝時代、大内氏滅亡は戦国時代、琉球建国は1429年室町中期、正解は②

NO159 東アジアの外交 平 16-追 正誤

14世紀の東アジアや日本の情勢について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 明は海禁政策を採って、明商人の自由な貿易を禁じた。
- ② 朝鮮半島では、李成桂が高麗を滅ぼし朝鮮を建国した。
- ③ 後醍醐天皇は、建長寺船を明に派遣して貿易を行った。
- ④ 幕府で激しい内紛が発生し、足利尊氏が弟の直義を殺害した。

正解→後醍醐天皇は、貿易を行っていない。建長寺船を派遣したのは鎌倉幕府で正解は③

NO160 日明・日朝貿易 2004 追試 正誤

16世紀の日明・日朝貿易について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 日明貿易が開始された際、明の皇帝は天皇に日本国王の称号を与えた。
- ② 日明貿易は、朝貢形式に反発した足利義教によって一時中止された。
- ③ 15世紀に、ポルトガルとの交易で得た南洋の産物が朝鮮へ輸出された。
- ④ 日朝貿易は、朝鮮で起こった三浦の乱を契機に衰退した。

正解→天皇×足利義満、義持一時中止、ポルトガルは生糸、④

NO161 14～15世紀の日明関係 2012 本試 年代整序 やや難

14世紀から15世紀にかけての日明関係に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列しなさい。

- Ⅰ 足利義持によって、明との貿易が一時中断された。
- Ⅱ 九州の懐良親王に、明が倭寇の取締りを要求した。
- Ⅲ 明皇帝が、「源道義」を「日本国王」とした。

正解→懐良親王が後醍醐天皇の皇子であることがわかればできる問題である。南朝方の征西将軍懐良親王は14世紀後半、一時九州全域を制圧したが、幕府の九州探題今川貞世に大宰府を追われた。これが一番古い。Ⅲは義満、Ⅰは、義持が義満の息子であるから→Ⅱ-Ⅲ-Ⅰ

NO162 日宋貿易 2012 本試 正誤組合せ

こうした状況のなか、10世紀になると、中央政府は従来の地方支配のやり方を転換し、国司の権限も大きくなっていった。ちょうどこの頃には、日本が手本としていた中国などでも大きな変化が起こっており、(e)東アジア諸国は変動の時期に入っていた。

下線部(e)に関して述べた次の文X・Yと、それに該当する国名a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

X 日本の律令国家のモデルとなったこの国は、10世紀初めに滅亡した。

Y 奈良時代以来、日本と親交のあった北東アジアのこの国は、10世紀前半に遼(契丹)によって滅ぼされた。

a 唐 b 宋 c 渤海 d 百済

- ① X-a Y-c
- ② X-a Y-d
- ③ X-b Y-c
- ④ X-b Y-d

正→唐が宋によって滅ぼされたこと、渤海が遼に滅ぼされたことを知っていれば簡単

正解→③

NO163 今川了俊 2006 本試 語句の組合せ やや難

今川貞世(了俊)は、将軍足利義満の下で九州探題に任じられた人物である。彼は武将であるとともに、和歌や連歌をよくする文化人の顔も持ち、『菟玖波集』を編纂した(ア)とも親交があった。九州に來た了俊は、当時の東アジア情勢に対応しなければならなかった。日本の沿岸や海上では倭寇が活動しており、それに悩まされた周辺諸国は日本に対し、倭寇の禁圧を求めていたのである。了俊は数回にわたり、倭寇によって日本に連れてこられた捕虜を朝鮮半島に送還しており、その際(イ)を求めたこともあった。(イ)は、日本と朝鮮との間で国交が開かれ公貿易が行われるようになると、朝鮮から日本へと輸出されるようになった。

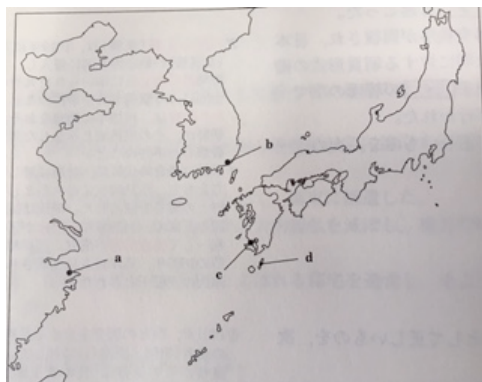
問 空欄(ア)(イ)に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 一条兼良 イ 硫黄
- ② ア 一条兼良 イ 大蔵経(一切経)
- ③ ア 二条良基 イ 硫黄
- ④ ア 二条良基 イ 大蔵経(一切経)

正解→④大蔵経が何なのか?を理解していないと、博打しかない。

NO164 16世紀東アジアの出来事 2006 本試 地図正誤

16世紀の東アジアで起こった出来事を述べた次の文X・Yと、地図中に示した場所a～dの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。



- X 1523年、大内・細川両氏の派遣した勘合船が争った。
- Y 1543年、ポルトガル人を乗せた中国船が漂着して鉄砲を伝えた。

- ① X-a Y-c ② X-a Y-d
- ③ X-b Y-c ④ X-b Y-d

正解→aは寧波で勘合貿易船の入港地と定められた。②

NO165 中世における日本と中国との交流 2013 本試 年代整序

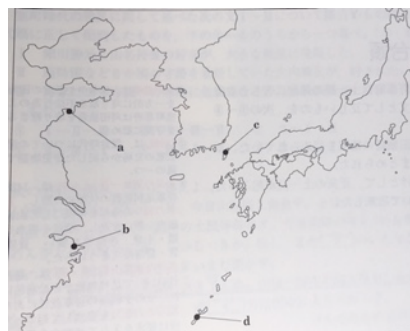
中世における日本と中国との交流に関して述べた次の文I～IIIについて、古いものから年代順に配列しなさい。

- I 中国から渡来した蘭溪道隆が、北条時頼の帰依を得て建長寺を開いた。
- II 中国から帰国した栄西が、禅宗の一派である臨済宗を伝えた。
- III 大内氏の遣わした使節と細川氏の遣わした使節とが、中国の寧波で衝突した。

正解→鎌倉幕府5代執権北条時頼は蘭溪道隆を招いて建長寺開山僧となった。栄西は源頼家の保護を受け、京都に建仁寺を建立した。寧波の乱は室町幕府衰退後のこと。II-I-III。

NO166 室町・戦国期の貿易・外交地 2011 本試

室町・戦国時代の貿易・外交にかかわる地について述べた次の文X・Yと、その所在地を示した地図上の位置a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。



- X 勘合貿易の明側の港であったこの地では、大内氏と細川氏との貿易の主導権をめぐる対立が起きた。
- Y この地は倭寇の根拠地と考えられたため、応永の外寇2とよばれる攻撃を受けた。

- ① X-a Y-c ② X-a Y-d
- ③ X-b Y-c ④ X-b Y-d

正解→aは膠州、bは寧波、cは対馬、dは琉球
Xは寧波だからb、倭寇の根拠地は対馬でc、よって正解→③

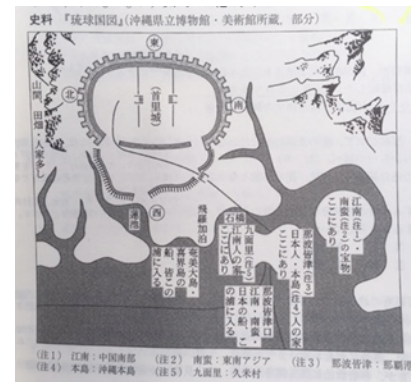
NO167 中継貿易の琉球 2013 本試 正誤組合せ

中世、中継貿易を展開していた琉球について、次の史料から読み取れることに関して述べた下の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

- X 那覇港には、日本・中国・東南アジアの船が出入りしていた。
- Y 那覇港が置かれた島には、中国から来た人々が居住する久米村があった。

① X正 Y正 ② X正 Y誤

③ X誤 Y正 ④ X誤 Y誤
正解→①史料にすべて書いてある。

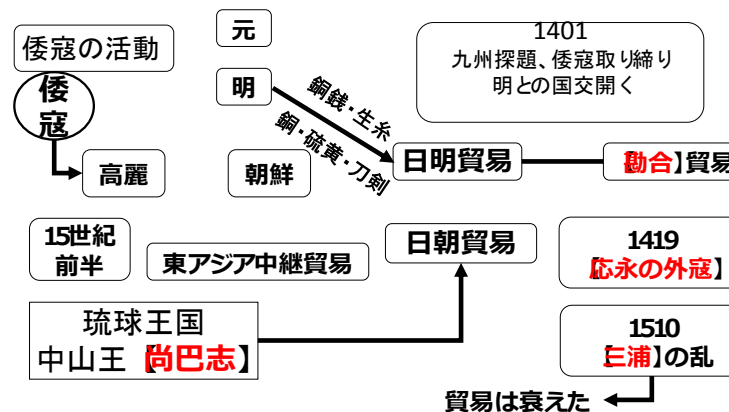


東アジアの動き

14C後半中国では漢民族の明が建国、高麗は【李成桂】が李氏朝鮮を建国

沖縄でも尚巴志が【琉球王国】を建てた。

九州の住民が朝鮮人とともに、大陸や朝鮮の沿岸で【倭寇】を開始。明は私貿易の禁止と倭寇の取締りを日本に求め、【義満】は九州探題に倭寇の討伐を命じ、明との正式な国交をひらくこととし、日明貿易（勘合貿易）が開始された。明からは【銅銭】生糸・織物を輸入し、日本からは【銅】硫黄・刀剣などを輸出した。やがて勘合貿易は博多商人と結んだ【大内】氏や【堺】商人と結んだ細川氏に移る（その後大内氏が独占）。



貿易	時代	貿易の主体	事項	おもな貿易品
日宋貿易	平安	平清盛	【大輪田泊】の修復 音戸の瀬戸の開削などを行なった	輸出品 【金】、硫黄、木材 輸入品 【宋銭】、陶磁器
日元貿易	鎌倉	北条高時	【建長寺船】を派遣 →建長寺再建の費用を得るため	
	町室	足利尊氏	【天竜寺船】を派遣 →天竜寺の造営費用を得るため	
日朝貿易	室町	【足利義満】	僧【祖阿】と博多商人肥富を派遣し、明との国交樹立 1404 勘合貿易を開始 →朝貢形式の交易	輸出品 【銅】、硫黄、刀剣 輸入品 【銅銭】、生糸、陶磁器など
		【足利義持】	1411 勘合貿易中断 →朝貢外交を屈辱として中断	
		【足利義教】	1432 勘合貿易を再開	
	戦国	【大内氏】	大内氏(博多商人と結ぶ) 細川氏(堺商人と結ぶ)が貿易を独占 1523【寧波の乱】 貿易の実権をめぐる大内氏と細川氏の対立 1551 大内氏の滅亡で日明貿易も終わった 1547 の貿易船が最後となった	

●中世における日朝関係

14世紀末 【日朝貿易】開始	1392 朝鮮建国 李成桂が高麗を滅ぼして建国 →【対馬の宗氏】が仲介 ●朝鮮は【富山浦・乃而浦・塩浦】の3港(三浦)を開き、日本の使節の接待と貿易のために倭館を開いた	おもな貿易品 輸出品 【銅・硫黄】琉球貿易 で得た蘇木(染料)・香木 輸入品 【木綿】・大蔵経
1419 【応永の外寇】	朝鮮が倭寇の根拠地と考えた【対馬】を攻撃	
1510 【三浦の乱】	三浦の日本人居留民が暴動を起こす	